

2024年9月9日

東洋食品工業短期大学 包装食品工学科微生物グループ  
助教の公募について

**募集の背景**

東洋食品工業短期大学の歴史は1938年設立の東洋罐詰専修学校にさかのぼり、以来一貫して包装食品の製造技術に関する教育研究を担ってきました。缶詰、レトルト食品、PETボトル詰め飲料をはじめとする長期保存可能な包装食品を製造するには食品加工技術や容器密封技術に合わせた体系的な食品微生物の教育研究が必要です。また、本学は食品衛生管理者・食品衛生監視員の養成施設としての食品衛生カリキュラムを擁しています。他の大学とはちょっと違う食品微生物学の世界に入ってみませんか？日本の食品産業を支える人材や研究成果をともに世に出しましょう！

なお、本学は資産運用を主たる財源とし、学費や公的資金に依存しない安定した経営を続けており、独自の研究費・設備費の交付制度もあります。また、2026年春からは現在建設中の新校舎にて教育研究をスタートする予定です。

**募集要項**

1. 職名および人員：助教1名（任期あり；パーマネント職として再契約の可能性あり）
2. 所属：東洋食品工業短期大学 包装食品工学科 微生物グループ（兵庫県川西市）
3. 専門分野：食品微生物分野
4. 担当授業科目：微生物実験、卒業研究等（他教員との協働でスタートします）
5. 応募資格：
  - (ア) 博士の学位を有すること（取得見込みも可）。
  - (イ) 食品微生物分野における教育と研究に意欲を持っていること。
  - (ウ) 地域貢献事業への参画に意欲を持っていること。
  - (エ) 大学運営（委員会業務等）に協力できること。
  - (オ) 国籍は問わないが、日本語（読み書き含む）が堪能であること。
  - (カ) 採用が決定した場合、確実に着任できること
  - (キ) 年齢性別を問わない
6. 採用・着任予定日：2025年4月1日（相談可）
7. 勤務条件等：
  - (ア) 給与：月給 260,000～332,000 円（経験等によりこの範囲内で設定する）、業績・職務内容に応じ昇給、年2回賞与あり。
  - (イ) 勤務：8:30～17:00（フレックスタイム制）、標準労働時間を超えた分については時間外手当を支給します。

(ウ) 年休 121 日(原則土日祝。但し、年に数回、行事等で出勤日となる場合があります)

(エ) 任期:1年更新で最長 3 年まで。

任期中に業務の成果や勤務姿勢等を評価し、基準を満たした教員は任期の定めのない雇用(テニユア)として再契約します。

(オ) 定年:60 歳(再雇用制度あり)

#### 8. 応募書類

(ア) 履歴書(様式の指定なし。写真を貼付し、連絡先にEメールアドレスも記入してください。)

(イ) 教育に関する抱負(あれば実績も)を 2,000 字以内でまとめて下さい。

(ウ) 研究概要:研究実績を 2,000 字以内でまとめて下さい。また、発表論文リストに代表的な論文(3報以内)を添付してください。

(エ) 推薦書を添付することができる。

#### 9. 応募締め切り:2024 年 10 月 25 日(金)

締め切りを待たず書類選考をスタートすることがあります。

#### 10. 選考方法

(ア) 第 1 次選考 書類審査

(イ) 第 2 次選考 選考委員による面接(模擬授業と研究紹介を含む)

#### 11. 応募書類の提出先(郵送)および問い合わせ先

〒666-0026 兵庫県川西市南花屋敷 4-23-2

学校法人 東洋食品工業短期大学 総務部

応募書類を入れた封筒に「応募書類在中」と朱記してください。

12. その他:本学は資産運用を主たる財源とし、学費や公的資金に依存しない安定した経営を続けています。独自の研究費・設備費の交付制度があります。2026 年春より現在建設中の新校舎にて教育研究をスタートします。

#### 問い合わせ先

東洋食品工業短期大学

教務課 牧志貴明: takaaki\_makishi@toshoku.ac.jp

包装食品工学科微生物グループ 松永藤彦: fujihiko\_matsunaga@toshoku.ac.jp